

農林水産大臣政務官
庄子賢一様

国の施策等に関する 提案・要望書

(令和7年8月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	福	田	俊	史
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	福	谷	直	美
鳥	取	県	町	村	白	石	祐	治
鳥	取	県	町	村	山	本	芳	昭

持続的な水田農業に資する新たな水田政策の実施について

《提案・要望の内容》

- 米価の高止まりによる消費者の米離れを防ぐため、食料安全保障の観点から、国の責任において主食用米の需給及び価格の安定に向けた体制を構築するとともに、フェアプライスの取組を一層推進すること。
- 水田農業の経営安定化を図るため、「水田活用の直接支払交付金」及び「経営所得安定対策等推進事業」等の十分な予算を確保するとともに、収入保険制度の拡充を検討すること。
- 今夏の著しい渇水・高温などの自然災害に強い地域農業への支援強化や、令和9年度以降の水田政策の見直しに当たっては、地域の実情に配慮し、生産者が将来にわたって安心して営農に取り組むことができる制度とすること。

<参考>

1 本県の令和6年産主食用米の生産目標と実績

- ・JAの販売計画に基づく生産数量と、全国の需給見通しに本県シェア率(0.88)を乗じた数量の範囲を生産数量目標とし、その中間値を目安として設定している。
- ・近年、作付面積は減少傾向が続いていたが、令和7年産では増加する見込み。

年産	作付面積目標(ha)			作付面積実績(ha)	生産数量目標(t)		収穫量実績(t)
	国配分ベース	(中間値)	JA計画ベース		国配分ベース	JA計画ベース	
令和3年	12,227	12,425	12,623	12,440	62,860	64,908	62,600
令和4年	11,754	12,024	12,303	11,956	60,312	63,173	61,700
令和5年	11,467	11,885	12,303	11,679	58,872	63,149	56,300
令和6年	11,452	11,742	12,032	11,505	58,872	61,855	58,200
令和7年	11,692	12,053	12,415	*11,974	60,104	63,844	—

※県農業再生協議会調べ (令和7年は5月末現在)

2 本県の米増産対策

- ・県再生協議会の主食用米の作付拡大への方針転換を踏まえ、令和7年度当初予算において、水田農業の将来を支える基幹的な担い手や中山間地域を支える多様な担い手の育成、スマート農業の推進、温暖化対策、水田の多面的機能保全等、約14億円規模で総合的に支援施策を強化。
- ・さらに、規模の大小に関係なく作付拡大に意欲のある多様な農業者の省力化、低コスト化に必要な機械導入を支援する「令和の米増産緊急支援事業」を6月補正予算で措置した。

3 本県の渇水対策

- (1) 被害状況
 - ・水稻、大豆、白ねぎ、梨・柿等の生育への影響が広範囲に見受けられている。
- (2) 当県の対応状況
 - ・7月28日に渇水等対策本部を設置。

【応急対策の実施状況(令和7年8月5日時点)】

対策	番水	節水	ポンプアップ等
箇所数	6市町・7地域	5市町村・7地域	13市町・25地域

- (3) 本県独自の「渇水対策等緊急事業」の創設(令和7年7月31日)
 - ・対象経費：ポンプなどの購入及びリース費、その他用水確保に資する応急対策費

4 全国的な主食用米増産の見通し

- ・7月18日公表の全国の作付意向調査結果(6月末時点)によると、令和7年産の主食用米の作付意向面積は前年より10万4,000ha増加、生産量は735万トンと見込まれ、前年比56万トンの増加となる見込み。
- ・7月30日に開催された「食料・農業・農村政策審議会 食糧部会」では、需要実績及び次年度の需要見込みについての公表が見送られ、今後の検証等を踏まえて決定するとされた。

5 経営所得安定対策等推進事業費補助金の配分額の推移

- ・県及び地域農業再生協議会の運営事務費である経営所得安定対策等推進事業費補助金は、固定的経費の高騰が重なる一方で、配分額は減少を続けている。

	国予算額 (百万円)	要望額(千円) (A)	配分額(千円) (B)	要望に対する配分(%) (B)/(A)*100
令和3年度	8,390	81,162	75,900	93.5
令和4年度	7,299	83,109	73,320	88.2
令和5年度	7,217	83,718	72,860	87.8
令和6年度	7,134	85,000	72,400	85.1
令和7年度	7,104	85,000	70,980	83.5

※令和6年以降は要望調査が廃止されたことから、県予算額を記載

6 収入保険制度の補てん基準及び特例措置について

- ・収入保険制度では、過去5か年の平均収入を基準収入とし、当年収入が基準収入の9割を下回った場合に、差額の9割を上限として補てん金が支払われる。
- ・「収入上昇傾向特例」制度により、令和6年産米の価格上昇等による収入の増加を基準収入に反映させることができる。生産者等への一層の周知が必要。

7 米の価格動向

- (1) 全国の米価の状況（8/4公表。7月21日の週）
 - ・ブレンド米等の平均販売価格：前週比+45円の3,133円/5kg（税込）
 - ・銘柄米の平均販売価格：前週比▲17円の4,247円/5kg（税込）
 - ・ブレンド米等が占める割合：前週比▲2%の56%
- (2) 本県における米の販売等に係るモニタリングの調査結果（県内小売10店舗）
 - ・県内の小売店において店頭在庫の品薄感は改善されている。
 - ・備蓄米は、6月12日以降、定期的に入荷している店舗と、継続的な入荷に繋がらなかった店舗があり、入荷後即日又は数日で完売する状況は現在も続いている。

8 当県におけるフェアプライスプロジェクト

- ・本県では、とっとりの地元産品への関心や愛着を高め、地産地消への意識を盛り上げる「もっと地産地消月間」（9月1日～11月30日）にあわせて、令和6年から「鳥取県版フェアプライスプロジェクト」を展開。
- ・JAグループの「国産国産月間」（10月1日～11月30日）との連携、キャンペーン協力店での県民（消費者）への説明や、テレビCM、Youtube広告の活用等、県内の農業生産の実情や生産者の思い、農畜産物の情報を発信。

日米関税交渉合意の農業への影響緩和対策について

《提案・要望の内容》

○日米関税交渉の合意によって生じる米国からのコメの輸入拡大にあたっては、国内の主食用米の需給への影響が生じることのないよう万全を期すこと。

<参考>

1 米国関税措置に関する日米合意の概要（農業分野）

〔貿易拡大等の措置〕

- ・ミニマムアクセス米77万トンの枠を維持の上、米国からの輸入割合を増加
- ・バイオエタノール、大豆、トウモロコシ及び肥料等を含む米国農産品等、米国製品の購入の拡大

2 米国からの農産物の輸入の状況

①ミニマムアクセス米

(万トン)

	R 4	R 5	R 6	R 7
輸入総量	76.7	76.7	76.7	19.0
うち米国	23.6 (31%)	34.8 (45%)	34.6 (45%)	8.7 (46%)
うちタイ	39.8 (52%)	33.3 (43%)	28.6 (37%)	4.5 (24%)

②トウモロコシ

(億円)

	R 4	R 5	R 6	R 7
輸入総額	7,644	6,890	5,963	2,530
うち米国	4,925 (64%)	3,287 (48%)	4,593 (77%)	2,416 (95%)
うちブラジル	1,742 (23%)	2,940 (43%)	1,206 (20%)	84 (3%)

③大豆

(億円)

	R 4	R 5	R 6	R 7
輸入総額	3,391	3,097	2,876	1,097
うち米国	2,420 (71%)	2,098 (68%)	1,876 (65%)	817 (75%)
うちブラジル	570 (17%)	556 (18%)	535 (19%)	101 (9%)

3 農業団体等の主な声

- ・コメについては、MA米の枠内での取扱であり、枠が拡大される訳ではない。他の品目も含め、詳細な交渉結果を踏まえて、今後対応していきたい。
- ・農業者の所得確保を図るため、関係機関が一丸となってフェアプライス（適正な価格形成）の取組を進め、持続的な農業を推進したい。
- ・多様な農業者が生産拡大に取り組めるよう必要な予算を十分確保してもらいたい。

農業の集中的な構造転換及び農林水産業の競争力強化に向けた対策の推進について

《提案・要望の内容》

農業者の減少・高齢化に対応し、食料・農業・農村基本計画に位置づけられた食料安全保障の実現や農業の持続的な発展、農村の振興を図るため、

- 農地の大区画化や共同利用施設の再編・集約化、スマート技術の開発と生産方式の転換・実装、輸出産地の育成を集中的・計画的に推進できるよう、必要な予算を十分に確保すること。
- 農林水産業の国際競争力強化に向け、生産コスト削減や収益力向上などを更に進めることが出来るよう、産地生産基盤パワーアップ事業、農業農村整備事業、林業・木材産業の生産基盤強化及び水産基盤整備事業など現場ニーズの高い対策について、十分な予算を確保するなど、引き続き万全の対策を講じること。

<参考>

【構造転換及び競争力強化に向け、現場で求められる対策】

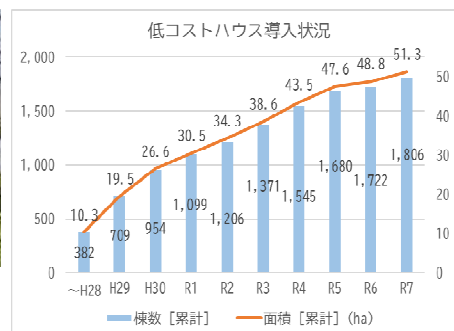
- 1 「産地生産基盤パワーアップ事業」等を活用した「鳥取型低コストハウス」導入や施設整備等による園芸品目の産地強化

〔鳥取県における取組事例と計画〕

- 鳥取型低コストハウスの導入を進めた結果、スイカの出荷前進化により高単価の有利販売に繋がっている。令和4年度に、北栄町のスイカ選果場の集出荷機能向上、令和5年度に、倉吉市のスイカ選果場の選別機能向上及び選果ラインの効率化を行い、令和6年産販売金額は3年連続で36億円を達成し、24年ぶりに37億円を突破した。
- 令和2年度に、「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用し、大山町に野菜広域センターを整備、令和4年度には、琴浦町にて新たな製氷機導入し、ブロッコリーの品質向上や収穫調整の効率化を進めている。



「低コストハウスにおけるスイカの収穫作業」(倉吉市)



「改修したスイカ選果場での選果状況」(R6.6 倉吉市)

2 「農業農村整備事業」を活用した農地の大区画化等による生産基盤強化

〔鳥取県における取組事例と計画〕

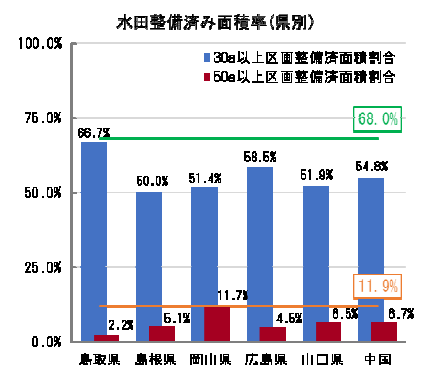
- 当県では昭和30年代以降ほ場整備が盛んに行われ、平野部の水田の多くは昭和後期までに整備を終えているため、区画面積30a程度のは場が多くを占めており、将来に渡って営農を持続可能な営農形態に適したほ場の大区画化等が課題。
- 令和4年度に淀江地区(米子市)で未整備田の大区画化に着手。用排水路の暗渠化や幅広畦畔等、スマート農業導入に対応した整備を実施中。隣接区域でも事業化に向け検討中。
- 福成地区(南部町)では、担い手が保有する機械を用いて畦畔除去及び均平作業を直営で施工する簡易な基盤整備による区画拡大に取り組んでいる。



淀江地区のほ場整備事業

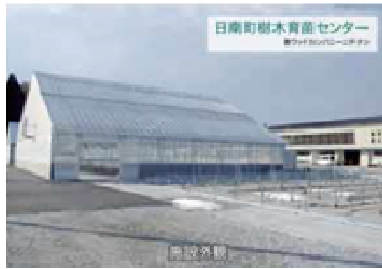


畦畔除去後の均平作業(直営施工)



3 「林業・木材産業の生産基盤強化」による木材加工流通施設・苗木生産施設整備支援等〔鳥取県における取組事例〕

- 令和6年1月には、(株)日新（境港市）が合板製造に係る乾燥、圧着等の機械施設を整備し、国産材を使用した構造用長尺合板の製造を主体に供給力を強化。
- 令和3年12月には、住友林業の技術提供を受け(株)ウッドカンパニーニチナン（日南町）の耐候性ハウスによる大規模コンテナ苗生産施設が完成。令和5年度には目標とするカラマツ苗木年間生産量12万本を超え、令和6年度には15万本に達した。
- 令和4年10月には、日本製紙(株)の閉鎖型採種園が竣工。同社は本施設で生産した種子を使用し、鳥取県山林樹苗協同組合との協業により、令和6年秋にはスギ特定苗木約6千本を出荷した。



圧着装置（コールドプレス機）（R6.1 境港市） コンテナ苗生産施設（R3.12 日南町） 日本製紙 閉鎖型採種園（R4.10 倉吉市）

4 「水産基盤整備事業」を活用した「境港高度衛生管理型市場」の整備

〔境港高度衛生管理型市場の整備状況と計画〕

- ・事業期間（総事業費）：2014年度～2025年度（256億円）
- ・整備状況：令和元年に1号及び陸送上屋、令和4年に2号上屋、令和5年にかにかご上屋、令和6年に7号上屋が供用開始。現在は共同利用冷蔵庫を整備しており令和7年11月に供用開始予定。その後8号上屋も整備予定。

〔境港水産物ブランド化〕

- ・平成31年3月に新市場のシンボルマークとキャッチフレーズを決定。
- 〔関係者が着用するポロシャツや首都圏や関西圏など大規模消費地での鳥取県フェアで使用する販促グッズを通じて水産物の活きの良さをアピールしている。〕

シンボルマーク



キャッチフレーズ
「安心と安全が、
進化するみなと。」



供用開始の陸送上屋（R元.6）



2号上屋でのセリの様子（R4.10）



7号上屋開場式典（R6.10）

5 「食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業」を活用した生乳生産の基盤強化・輸出拡大

〔鳥取県における取組事例と計画〕

- 大山乳業農業協同組合は、県内の酪農家が出資した酪農専門の協同組合で、県内の酪農家が生産した全ての生乳を処理、生産から処理・販売までを一貫体制で行っている。
- 生乳の品質の良さが評価され、大手メーカーからの生産受託や取扱店舗の拡大など、アイスクリーム生産が増加。
- 令和6年12月には、「フラッグシップ輸出産地」に認定。
アイスクリームの製造能力4倍を目標に新工場の整備を進め、香港・台湾をターゲットに年間10億円の海外輸出を目指している。

<受託生産（OEM）で大山乳業が製造しているアイスクリーム>



レディボーデンミニ
（株式会社ロッテ）
鳥取県産生乳100%を使用したミルクのリッチな味わいが楽しめる高単価商品。



ウチカフェリッチミルクバー（ローソン）
鳥取県産生乳を40%使用しすっきりコクのあふ素材本来の美味しさが楽しめる。